



みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる128のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。＝秋の日豊海岸の食や景色、歴史・文化を満喫してください。＝

## 今月のシーニック・バイウェイ



### 蒲江浦の風景(佐伯市蒲江)

蒲江浦には、古い網小屋や昔の人が行き来した道路「一文峠」や「貫(人道トンネル)」などおもしろい魅力がいっぱいです。また、漁港内は湾岸散策路も整備され地元の憩いの場となっています。

蒲江振興局(写真中央)の裏山(青龍山)は「青龍秋月(せいりゅうしゅうげつ)」として蒲江八景で詠われています。



## 地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの旬の地域資源（宝）等を紹介します



### 地域で活動する人



#### ◆村田宮子(ムラタ ミヤコ)さん ～きたうら風景海道推進協議会会長～

村田さんは、国道388号線を中心に地域振興を行う団体「きたうら風景海道推進協議会（以下、協議会）」の会長を務めています。協議会では、地域の魅力向上を目的に自然保護や清掃美化活動等を行っています。村田さんは他にも北浦町で開催される多数のイベント等でも実行委員として地域振興に活躍しています。今年度は、東九州道の開通もあり、いつも以上に気合が入っています。



村田宮子さん



### 歴史・文化資源



#### ◆霜月祭り(佐伯市蒲江)

11月、蒲江の浦々で霜月祭りが行われ、地域独自の神楽が奉納されます。蒲江地域の神楽は12座にあり、佐伯系神楽、日向系岩戸神楽などいくつかに分類されます。特に、丸市尾神楽、葛原岩戸神楽は県指定無形民族文化財となっています。

～是非、蒲江の神楽をご覧になってください～



葛原岩戸神楽

◆問合せ先：蒲江振興局地域振興課 TEL 0972-42-1111



### 自然・景観資源



#### ◆のじぎく(佐伯市蒲江)



たかひら展望公園ののじぎく

「第13回たかひら展望公園のじぎく祭り」が11月18日（日）に開催されます。当日は昼めし祭りが復活！！地元料理が楽しめます。また、最後にはお楽しみ抽選会も開催されます。

会場へはマリンカルチャーセンターなどからシャトルバスが運行されます。詳しくは、高平キャンプ場へお問い合わせください。（雨天時は、11月25日に延期です。）

◆問い合わせ先：高平キャンプ場 TEL 0972-42-1880

### お知らせ

#### ◆たかひら展望公園休園日について

里の駅たかひら展望公園は平成24年10月1日～平成25年3月31日までの間、水曜日を休園します。（水曜日が祝日の場合は営業します）なお、水曜日でも屋外トイレは利用できます。





# 食



## ◆マリンレモンとサバ

太陽の光をいっぱい浴びた海のまちのレモンは、皮がさわやかなグリーン色が特徴です。通常のレモンと比べて、さらに澄んだ香りと豊かな風味でお刺身や焼き魚などとの相性は抜群です。脂ののったサバは塩焼きにしてマリンレモンをかけると最高です。11月までが旬です。



マリンレモン



サバ

## 活動報告 ◆「にっぽん丸」寄港で”おばちゃんバイキング”ふるまう

9月27日、豪華客船にっぽん丸(全長167m、約2万2000トン)が佐伯港に寄港し、乗客のみなさんは佐伯の魅力満載の”食”を堪能しました。このうち、蒲江地区では、約70名のみなさんを”おばちゃんバイキング”でもてなしました。乗客のみなさんは、新鮮なお魚をはじめ、”海鳴り寿司”や”くじゃく”など蒲江の珍しい郷土料理をたいへん喜ばれたそうです。



佐伯港の「にっぽん丸」



おばちゃんバイキングの様子



海鳴り寿司



くじゃく

## 活動報告 ◆「道守(みちもり)大分会議」総会に参加しました。

10月6日、「道守(みちもり)大分会議」の総会が開催され、意見交換や別大国道の清掃が行われました。道守活動とは、道の清掃や花植えなどのボランティア活動のことを言います。当日は県内から約80名の方が参加され、蒲江地区からも「蒲江道づくりを考える女性の会」のみなさん8名が参加しました。3月に植樹した女性の会のマイツリーも元気に育っていました。



女性の会の皆さんとマイツリー



## お知らせ ◆延岡感動体験博覧会「えんぱく」が開催されます。

宮崎県北の魅力を詰め込んだ手作り体験プログラム「えんぱく」が、今年は11月4日から11月25日までの日程で、延岡市を中心に開催されます。3回目となる今回は「はじまる。緑めぐりの季節」をテーマに9市町村で41イベントが開かれます。

北浦周辺では、「島野浦の人情にふれる郷土料理とドキドキ島めぐり」や、「免許皆伝！伊勢えびを自分でお造りと味噌汁に」、「気分ソー貝」などのプログラムが行われます。他の地域でも、さまざまな魅力的なプログラムが用意されています。

◆問い合わせ先：延岡商工会議所 TEL 0982-20-0008



## お知らせ ◆”九州一さいき・魅力(味力)UPシンポジウム”開催

11月7日(水)14:00～、佐伯文化会館に小俣郁雄氏(株)JTBCコミュニケーションズ九州 代表取締役社長)を迎え、”九州一さいき・魅力(味力)UPシンポジウム”が開催されます。このシンポジウムに参加し、地元観光関係者の意見を「九州一さいき・観光重点戦略」に反映させることで一丸となり、東九州自動車道延伸のビッグチャンスを活かしましょう！

佐伯の魅力、一緒に考えてみませんか？

◆問い合わせ先：「九州一さいき・観光重点戦略」プロジェクトチーム事務局 (大分県南部振興局地域振興部内) TEL 0972-22-9073

## お知らせ ◆日豊海岸「ぶんご井街道2012」開催中！！

臼杵市・津久見市・佐伯市の共通資源である「海の幸・山の幸」を活用して、「井」をテーマとした『ぶんご井街道』が開催されています。

今や県南の名物として定着した『ぶんご井街道』も、今回で第6弾となり、今回も旬の新鮮な食材を使った各店自慢の井が、ど～んと勢ぞろいしています。この機会にぜひお出かけください!!

● 井街道は、平成25年2月28日(木)までです。●

日豊海岸「ぶんご井街道2012」のHPはこちらから <http://blog.nippo-lias.com/>



## 東九州自動車道建設情報



## 北川ICの舗装工事はじまりました！！

写真は北川IC(インターチェンジ)の舗装工事です。舗装工事が始まったことにより開通が見えてきました。今年度は、東九州自動車道 蒲江IC～北浦IC間、須美江IC～延岡JCT・IC間が開通する予定です。



東九州自動車道(佐伯～北川間)の工事進捗状況写真が下記URLでご覧いただけます。

佐伯～県境間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/higashisnchoku/higasikyuuushuu.html>

県境～北川間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/douro/higasikyushu/index.html>

## ◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://kyushu1-saiki.sakura.ne.jp/nippou-kaigan/nippoukaigan.html>

皆様からの情報提供をお待ちしております。

## 問い合わせ先

### 日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0813 大分県佐伯市長島町1-2-1 (大分県佐伯総合庁舎1階) 一般社団法人佐伯市観光協会内  
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 調査第二課  
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課  
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489